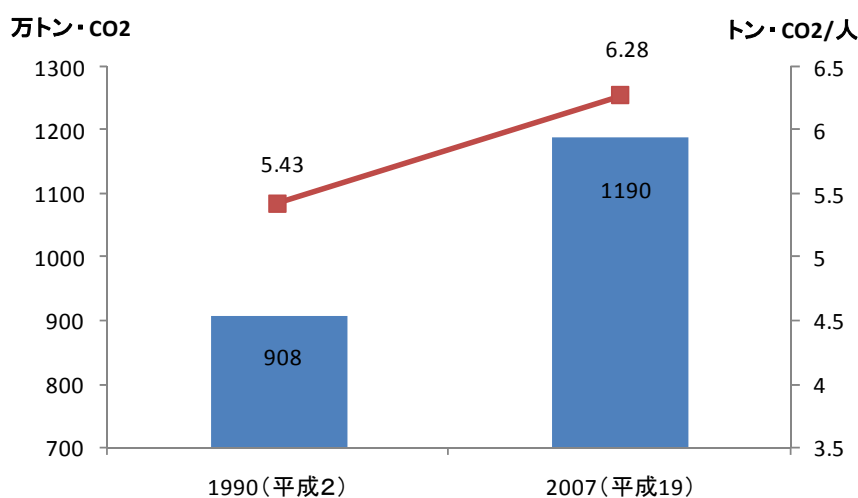


2-1-3 環境問題への対応

(1) 環境負荷の増加

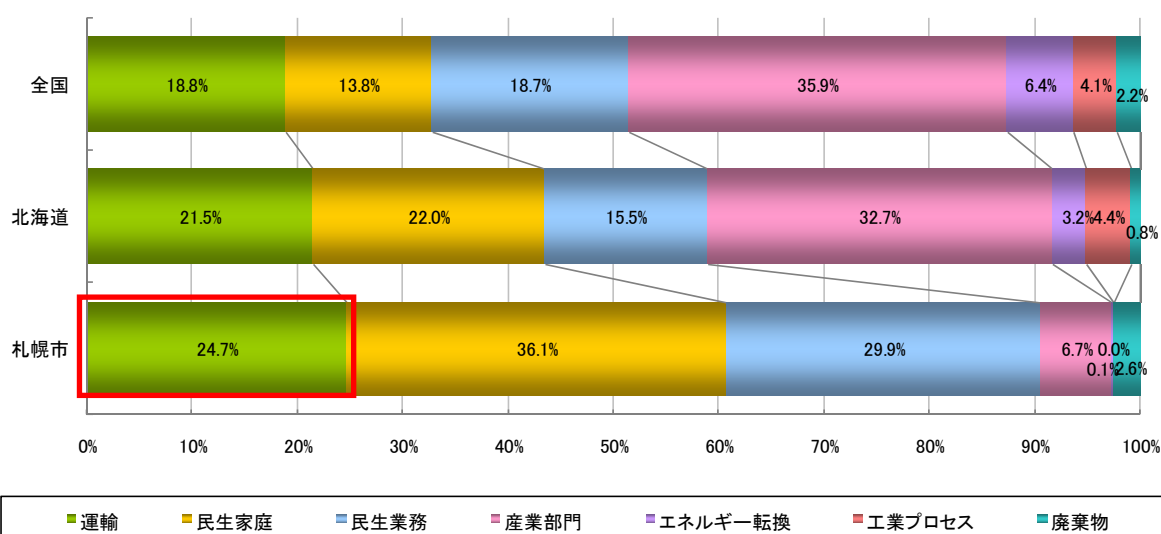
◇ 市内の二酸化炭素排出量は増加傾向。運輸部門からの排出割合が比較的高い。

- ・ 札幌市内での二酸化炭素排出量は増加傾向にあります。
- ・ 札幌市は、運輸部門（主に自動車）からの二酸化炭素排出割合が全国、北海道と比べ高い状況です。
- ・ 二酸化炭素排出削減に向けて、自動車利用の見直しなどの交通面での取り組みが必要となっています。



資料：札幌市環境局

図 2-25 札幌市内の二酸化炭素排出量



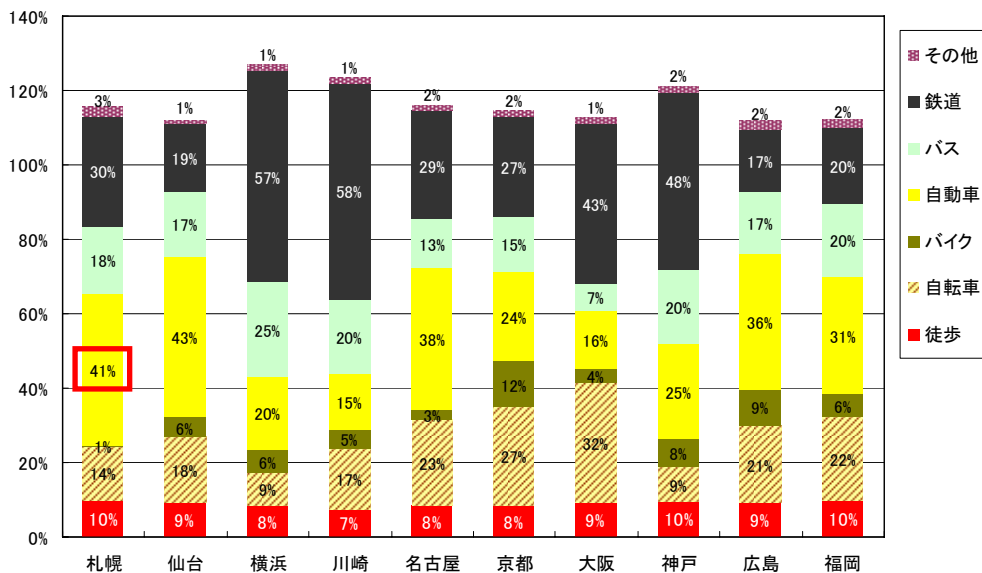
資料：札幌市環境局、北海道環境生活部、国立環境研究所（2007年度）

図 2-26 部門別の二酸化炭素（CO2）排出量割合

(2) 環境意識と自動車利用

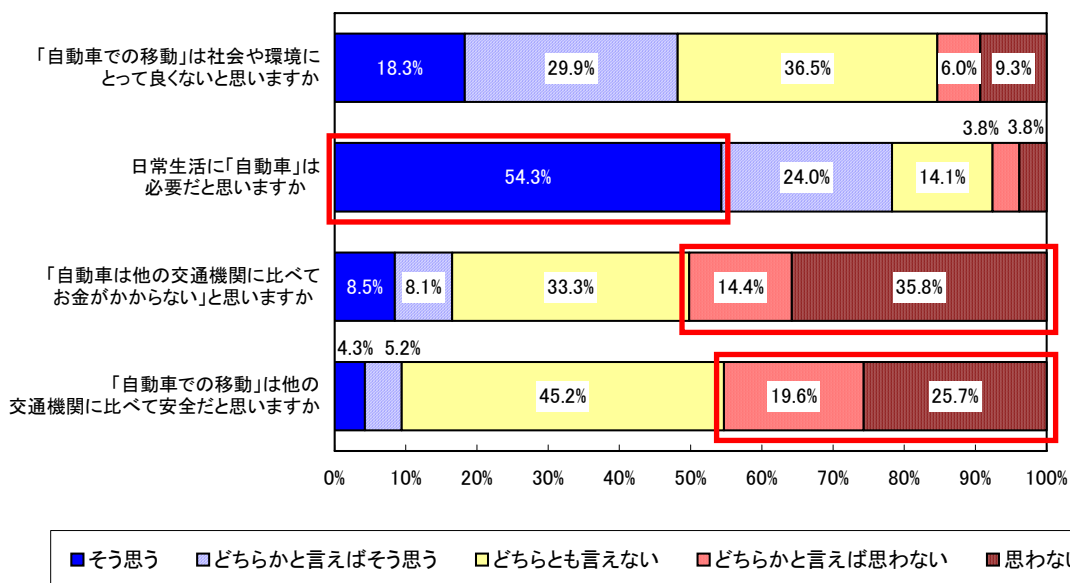
◇ 自動車の環境負荷を理解しつつも、自動車利用傾向が高い札幌市民。

- 他都市（100 万人以上都市）に比べ、札幌市では通勤・通学で自動車を使う割合がやや高い状況です。
- アンケート調査の結果、市民は自動車の環境面での課題や、経済性・安全性の課題も認識していますが、日常生活で自動車は必要と回答しています。



資料：国勢調査（2000 年）、東京都区部を除く 100 万人以上都市
 注：複数回答があるため合計が 100%とならない。

図 2-27 通勤・通学時交通手段分担率の他都市との比較



資料：第 4 回道央都市圏パーソントリップ調査（2006 年、ライフスタイル調査）

図 2-28 自動車に対する意識（札幌市集計）